



下地や床材の種類によって使用する接着剤・副資材などが異なります。別紙「工法」の表を必ずご確認ください。  
 使用前保管時・施工時・養生時 ① 5℃以下(気温・下地)にならないこと ② 急激な温度変化がないこと ③ 水濡れのないこと

## 1. 下地の清掃

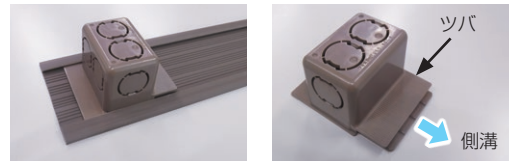
砂・塵埃などを除去してください。水勾配は1/100以上必要です。

## 2. 裁断とけがき

ドレーンレールプラス G を取り付け位置に、ドレーンレールプラス G 本体の幅寸法(約78mm)で下地に鉛筆などでけがいてください。次に、シートとドレーンレールプラス G 本体を荒切りし、仮敷きしてください。

## 3. ホルダーをレールにセット

ドレーンレールプラス G を施工する際は、あらかじめ DGホルダーをドレーンレールプラス G にセットしてから施工してください。  
 ツバが2枚ある方を側溝側に向けて取り付けてください。

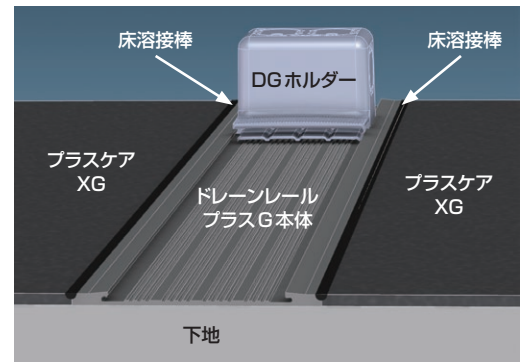


## 4. 接着剤の塗布と張り付け

下地に接着剤を塗布し適切なオープンタイムを取った後に張り付け、十分に圧着してください。

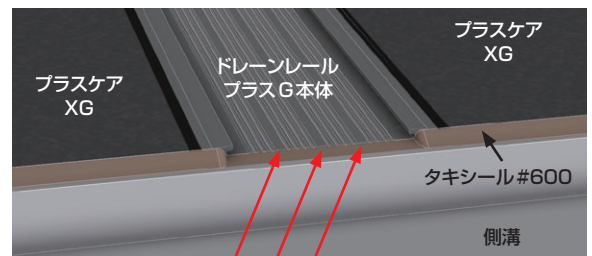
## 5. 継目処理

ドレーンレールプラス G 本体とシートの継目はU字型に溝をカットし、タキストロン床溶接棒を用いて熱風溶接処理を行ってください。



## 6. 端部処理

シートの端部をマスキングテープで養生し、タキシール#600で端部処理をした後、マスキングテープを取り除いてください。  
 排水溝側にシールする際には、ドレーンレールプラス G 本体の溝部分を塞がないように注意してください。  
 (シールにより水の流れを妨げる場合があります。)



タキシール#600は、ドレーンレールプラス G の溝を塞がないようにしてください。

## 7. カバーの切断・取り付け

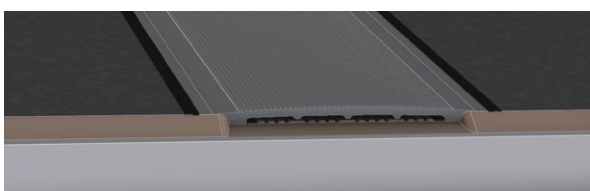
①ドレーンレールプラス G のカバーを適切な長さに切断してください。ドレーンレールプラス G のカバーは DGホルダーの2枚のツバの間に挟むようにして入れます。DGホルダーとドレーンレールプラス G のカバーとの間に隙間がないように長さを調節してください。



②カバーをドレーンレールプラス G 本体に取り付けてください。片方を先にはめ込み、製品を丸めるように軽く曲げ、もう片方をはめ込んでください。手のひらで上から押さえ、浮きがないことを確認してください。



取り外す場合も同様にカバーを丸めるように軽く曲げ、最初から最後まで慎重に取り外してください。



カバーは着脱を行いやすくするため、柔軟な配合設計となっており、温度の上昇や時間の経過により縮む場合があります。その場合は、DGホルダーとカバーとの間に隙間ができないようカバーをスライドしはめこんでください。

# ドレールールプラスG(品番:DG)専用

マンション用

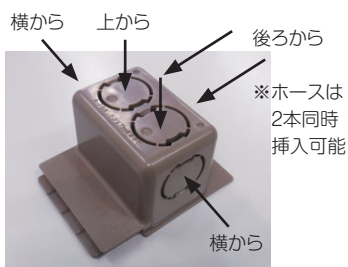
## DGホルダー マルチタイプ

施工方法



下地や床材の種類によって使用する接着剤・副資材などが異なります。別紙「工法」の表を必ずご確認ください。  
 使用前保管時・施工時・養生時 ① 5℃以下(気温・下地)にならないこと ② 急激な温度変化がないこと ③ 水濡れのしないこと

### 差込口は6ヶ所

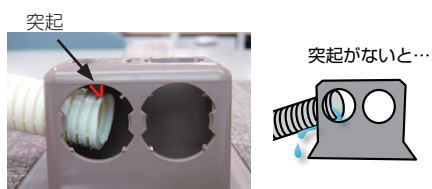


### 大きな虫が入りにくい



差込口には全てカバーがついていますので、必要な部分のみ穴を開けることで、大きな虫の浸入を防ぐことができます。

### 伝い水の軽減



ホルダー内の上部の突起でホースを上から押さえることにより、ホースの先端が下がりますので伝い水の軽減ができます。

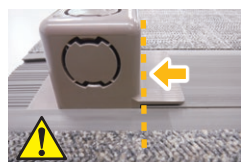
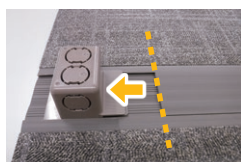
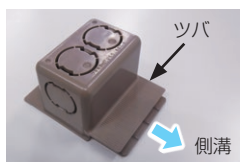
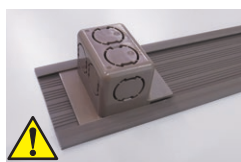
### 水漏れ軽減



ホルダー内中央に隔て板がありますので、ホースの差し込みすぎによる水漏れを軽減できます。

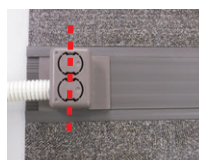
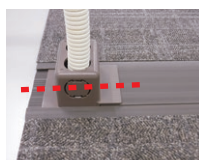
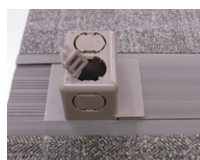
## DGホルダーマルチタイプの取り付け方法

- ① ドレールールプラスGを施工する際は、**あらかじめDGホルダーをドレールールプラスGにセットして**から施工してください。ツバが2枚ある方を側溝側に向けて取り付けてください。
- ② ドレールールプラスGのカバーをDGホルダーの2枚のツバの間に挟むようにして入れ、**下図(右)のように隙間がないことを確認ください。**
- ③ DGホルダーを取り外す場合は片側に寄せて外してください。外しにくい場合は側溝側にスライドしてください。



## 排水ホースの取り付け方法

- ① **差込口はフックナイフか先の細いニッパーでカットしてください。**4ヶ所のツメの内、2ヶ所を先に切ってから外側に折り曲げ、最後に残りの2ヶ所をカットすればカバーが内部に落ちません。
- ② **ホルダーのそれぞれの穴の中央辺りまでホースを差し込んでください。**(深く差し込みすぎると漏水の恐れがありますのでご注意ください。)



- 外径18~21mmの蛇腹タイプの排水ホースに対応。
- ドレールールプラスG1本につき、DGホルダーは1個までにしてください。
- DGホルダー1個につき、排水ホースは2本までにしてください。
- 排水ホースをホルダーに深く挿し込みすぎると漏水の恐れがあります。挿し込み深さをホルダー中央辺りとなるように設置してください。
- 横から2本挿す場合はホース同士が干渉しないようにご注意ください。
- 挿し込み口で指を切らないように注意してください。
- 取り付け位置は、清掃の妨げや歩行のつまずきの原因となりにくい場所を選択してください。

試験データ  
P.161

法規関連  
P.172

工法・下地  
P.183

施工手順  
P.201

接着剤・副資材  
P.266

副資材  
品番一覧  
P.275

メンテナンス  
注意  
P.279